

風

かぜ カゼ 2004.5-17 No. 69

◇お経について ④

ある日のこと、お経はだれの為に読むのでしょうかと、尋ねたことがあります。年回法要の際に問いかけたこともあります。いずれも「故人のためです」と、はっきり返事が返ってきました。皆さんは如何でしょう？

答えは「わたくし」です。お経は釈尊が苦しみを抱え生きている大衆に対して説法された教説(No.66)であり、亡くなった人を対象にしての説法ではないからです。説法を受けるのは故人ではありません。「私」なのです。

◇安樂寺総永代経

今年の永代経法要日は小雨があり、心配しましたが熱心な門信徒が参詣され、何時ものように皆さんで阿弥陀経を読誦し、今年も竹岡郁芳先生にご法話をいただきました。「信心」という本当の意味(浄土真宗的捉え)を生活の中で例示され、尊いみ教を有り難くいただき、法縁を深め広めたいと結ばれました。

◇今月の安樂寺伝道掲示板

口先の言葉は
疑より出て
腹からの言葉は
信よりでる

暁鳥 敏

〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安樂寺 03-3451-1509